

科目名	英語会話 I	JABEE科目	科目コード 602
-----	--------	---------	--------------

学年・学科等名	1 学年	専攻共通	教養・必修
単位数・開講期	2 単位	後期	
総時間数	90 時間	講義 30 + 自学自習 60	
担当教員	(非常勤講師) 平井 しのぶ		

JABEE関連	教育プログラム科目区分	107一般基礎科目外国語コミュニケーション系
	教育プログラムの学習・教育目標	C-2(100%)
	JABEE基準	f

教科書名	
補助教材	多読用英語図書
参考書	快読 100 万語、ペーパーバックへの道、酒井邦秀著、ちくま学芸文庫

A. 教育目標

英語でのコミュニケーション能力を向上させるために英語を日本語に訳さず英語のまま理解する力をつけていきます。そのために、英語圏の子ども達用に作られたやさしいレベルの多読用英語図書から段階を経て大量に読んでいきます。半年後には自ら英語図書を選択し、多読を継続できる力をつけることをめざします。

B. 概要

この授業でいう「多読」とは、辞書をひきながら一語一句理解する「精読」ではなく、「辞書は引かない、わからないところはとばす、つまらなければやめる」という三原則にそって各自のペースで読書を進めていくものです。担当講師は学習者それぞれにふさわしいまたは読みやすい図書をみつけるためにカウンセリングをします(授業中の巡回指導または授業前後の時間に相談にのります。)

C. 学習上の留意点

多読三原則のうち一番難しいのは「途中でやめる」ということですが、自分にあわないものはやめて新たな図書を選んでください。快適に読めるレベル、ジャンルをみつけるのが難しいこともあります。遠慮せず相談してください。学期末試験については初見の問題を用いるので、試験対策などはできません。しかし、普段の授業で自分にあったたくさんの図書を読んでいけば、それほど難しくはないはずなので、この時間は「読書をする」ことを心に留めておいてください。

D. 評価方法

読書手帳の記録(毎時間終了後提出)(20%)、book report(3回、うち1回は口頭発表)(30%)、試験(50%)で評価する。

E. 授業内容

授業項目	時間	内 容	教 育 プログラム
オリエンテーション 多読演習	2	多読三原則、多読用英語図書、読書記録、book report について説明する。 ORT(Oxford Reading Tree)などを用い、絵をじっくり見て想像しながら読む練習をする。	C-2
多読演習 聴き読み(LR=ListeningReading) シャドウイング	14	多読用英語図書(ORT, ICR, PYR, PGR, OBW, CER など)を用い、多読を行う。英語のまま内容を理解できるレベルのものを選ぶ。 CD を聴きながら読む LR と、音を聞きながら声を出すシャドウイングを実践する。	C-2

授業項目	時間	内 容	教 育 プログラム
多読演習 LR、シャドウイング 学期末試験の模擬試験	14	引き続き多読用英語図書による多読を行う。 LR、シャドウイングを実践する。 学期末試験は初見の数千語の英文を時間内に読んで、英文を回収してから内容に答える形式なので、その形式に慣れるために模擬試験を行う。	C-2
後期期末試験			
◆自学自習	60	多読用図書を読む、多聴用 CD を聴く、シャドウイングをすることを総合して60時間と考える。	C-2

F. 関連科目
英語講読